

『舞姫』問題演習

() 組 () 番 氏名 ()

【三一六ページ】

問 「石炭をばはや積み果てつ」(1行)の「をば」と「つ」を文法的に説明せよ。

答

問 「熾熱灯の光の晴れがましきもいたづらなり。」(1行)は豊太郎のどういう心情を表しているか。

答

問 「五年前のことなりしが」(3行)と、この小説は過去を回想する形を取っているが、これはどういう意味を持っているか。

答

問 ドイツ渡航前の豊太郎と現在の豊太郎の違いを述べよ。

答 ドイツ渡航前――

現在の豊太郎――

問 豊太郎が日記を書けない理由は何か。またそれは豊太郎をどのよう悩ませてきたのか。

答

【三一七ページ】

問 「別に故あり」(1行)とあるが、その「故」とは何か。

答

問 「げに」の品詞と意味を記せ。

答

問 「げに東に帰る今の我は、西に航せし昔の我ならず」(2行)に用いられている修辞法を説明せよ。

答

【三三八ページ】

問 「さ」(7行)は何をさすか。本文中から抜き出せ。

答

問 「さはあらじと思へど、……いで、その概略を文につづりてみん。」(7、9行)とあるが、ここで豊太郎は、詩にうたったり、歌に詠んだりしてもその恨みは消えまいと思いつつも筆をとる気になっている。これにはどういう理由が考えられるか。考えられる理由を簡条書きにせよ。

答

【三一九ページ】

問 「五十を越えし母に別るをもさまで悲しとは思はず」(2行)とあるが、その理由を説明せよ。

答

問 ベルリンについた豊太郎が決意していたことは何か、その部分を本文中から抜き出して記せ。

答

問 「我が目を射」(5行)、「我が心を迷は」(6行)した事物とは何か。

答

【三二〇ページ】

問 「喜ばしきは、我がふるさとにて、独逸、仏蘭西の語を学びことなり。」(10行)とあるが、『舞姫』の中で豊太郎のフランス語の語学力はどういう役割をしているか。

答

問 豊太郎の自己認識はどう変化したか。ドイツへ留学し三年が経過する以前と以後に分けて答えよ。

答 三年が経過する以前――

三年経過後――

【三二二ページ】

問 「昨日までの我ならぬ我」(15行)とは、どういうものか。

答

問 豊太郎の自我は覚醒したが、それは日本から遠く離れた異国ドイツにおいてであった。このことをふまえ、豊太郎の自我の目覚めがドイツで可能になった理由を説明せよ

答

【三三三ページ】

問 ここにおいて官長と豊太郎の関係はどう変わったかを説明せよ。

答

問 豊太郎は他の留学生仲間から、どのような人物とされていたか、簡潔に答えよ。

答

【三三四ページ】

問 「ああ、彼も一時」(14行)の「彼」とは何をさしているか。

答

問 ここで豊太郎は自分の性格をどのようなものとして分析しているか、簡潔に答えよ。

答

問 「我が本性」(16行)とは、どういうものか。

答

【三三五ページ】

問 「かの人々」(3行)とは、誰のことか。

答

問 「これぞ余が兀罪を身に負ひて、暫時の間に無量の艱難を閱し尽くすなかだちなりける。」(11行)とあるが、「無量の艱難」とは、いったい何のことなのか説明せよ。

答

問 「余が兀罪」(11行)は具体的にどの部分ををさしているか。本文中から抜き出せ。

答

【三三六ページ】

問 豊太郎とエリスの最初の出会いの場所はどういうところか説明せよ。

答

問 「声を吞みつつ」(8行)の意味を記せ。

答

問 「ここに立ちて泣くにや」(15行)のあとに省略されている語を補え。

答

問 豊太郎はエリスにどういう気持ちで声をかけたのか。

答

【三三七ページ】

問 「彼」(7行)とは誰か。

答

問 ここでのエリスはどのような少女として造型されているか説明せよ。

答

【三三八ページ】

問 「エリスの余に会釈して入るを、彼は待ちかねしごとく、戸を激しくたた切りつ。」(10行)とあるが、エリスの母はなぜこのようなまねをしたのか説明せよ。

答

【三三九ページ】

問 エリスの家はどういう構造になっているのか説明せよ。

答

問 結局エリスが豊太郎と出会ったときの状況は、どのようなものだったのか、説明せよ。

答

【三三〇ページ】

問 なぜ「悪因」(13行)と言っているのか。

答

【三三一ページ】

問 豊太郎の免官はどのようにして起こったのか、説明せよ。
答

問 留学生仲間なぜ豊太郎を中傷したのか。
答

【三三二ページ】

問 母の死は豊太郎にとってどういう意味を持ち、また作品展開上どのような意味を持っているか説明せよ。
答

問 エリスはどういう境遇の少女なのか、まとめよ。
答

問 「舞姫」(7行)の境遇はどのようなものか。
答

【三三三ページ】

問 「色を失ひつ」(2行)の意味を記せ。
答

問 「この折」(6行)とは、どういうときのことか。
答

問 「我が命」(13行)の意味を記せ。
答

【三三四ページ】

問 「今」(3行)とは、どんな時か。
答

問 豊太郎がドイツへ留まった理由は何か。
答

【三三五ページ】

問 ここには豊太郎とエリスの小市民的生活が描かれている。貧しいながらもほのぼのとした小さな幸福が最もよく描かれている一文を抜き出して記せ。

答

問 「昔の法令条目の枯れ葉を紙上にかき寄せしとは異にて」(11行)とあるが、ベルリンに着いたところと、今の状況は、それぞれどのようなものか。

答 ベルリンに着いたところ――

今――

問 「我が学問は荒みぬ。」(9行、三三六・7)と二度繰り返し返されているが、ここには豊太郎のどういう気持ちが表示されているか、説明せよ。

答

【三三六ページ】

問 「夢にも知らぬ境地」(13行)とは、どういうものか。
答

問 「明治二十一年の冬は来にけり。」(15行)とあるが、この小説で年号が記されているのはこの部分だけである。この文が小説の中でどのような役割を果たしているか説明せよ。

答

【三三七ページ】

問 「室を温め、かまどに火をたきつけても、壁の石を通し、衣の綿をうがつ北欧羅巴の寒さは、なかなか堪へ難かり」(2行)という描写から、どういうことがうかがわれるか。

答

問 「今朝は日曜なれば家に在れど、心は楽しからず。」(8行)とあるが、豊太郎はどういう気持ちであったのか説明せよ。

答

【三三八ページ】

問 「かはゆき独り子を出だしやる母もかくは心を用ゐじ。」(8行)から読み取れるエリスの気持ちはどのようなものか。

答

【三四四ページ】

問 「何、富貴。」（1行）とは、どういう気持ちで言ったのか。

答 魯国で豊太郎はどのような位置を占めていたか、記せ。

【三四〇ページ】

問 「不幸なる閱歴」（10行）とは、どういうものか。

答 問 「これ」（13行）は、どの部分をさしているか。

問 相沢は豊太郎にどういう要求をしているか。四十字以内で説明せよ（句読点も字数に数える）。

答 問 豊太郎がロシアへ行って不在の間、エリスはどういう心境だったのか記せ。

【三四五ページ】

問 「この一段のこと」（12行）とは何か記せ。

答 問 「我をば見捨てたまはじ」（三三八・16）と「我をばゆめな捨てたまひそ」（9行）の語法の違いを説明せよ。

【三四一ページ】

問 相沢は「意を決して断て」（5行）と言っているが、ここには相沢のどういう考え方がうかがわれるか、説明せよ。

答 問 「我をばゆめな捨てたまひそ。」（9行）と書き送ったエリスの心情は、どのようなものか。

問 「されど我が脳裏に一点の彼を憎む心」（三五三・8）とつながってくるのは、このページのどの文か、それを抜き出して記せ。

【三四六ページ】

問 「我が地位」（3行）とは、どういうものか。

答 問 「我が地位」（3行）とは、どういうものか。

【三四二ページ】

問 「余は心のうちに一種の寒さを覚えき。」（1行）とあるが、それはなぜか。

答 問 「我が近眼」（8行）は、どういうことの比喻として用いられているか。

問 豊太郎は相沢にエリスとの関係を断つことを約束しているが、どうしてこのような結果になったのか説明せよ。

答 問 ロシア行きはこの小説の中でどういう意味を持っているか。

問 「我が恥」（10行）とは、何のことか。

【三四七ページ】

答 問 「こは足を縛して放たれし鳥のしばし羽を動かして自由を得たりと誇りしにはあらずや。」（2行）とあるが、これを具体的に説明せよ。

【三四三ページ】

問 「まだひと月ばかりなるに、かく厳しきは故あればなるべし。」（3行）とあるが、その理由を説明せよ。

答 問 「我が心はこのときまでも定まらず」（15行）とあるが、豊太郎は何に迷っていたのか記せ。

答

答①

【三四八ページ】

問 ロシアからドイツのクロステル街のエリスの家に戻ったときの豊太郎の心情を記せ。

答

②

【三四九ページ】

問 豊太郎に帰国を決意させたものは何か、このページからそれにあたる部分を抜き出して記せ。

答

問 『舞姫』の文体にはどのような特色があるか。
答

問 「ああ、なんらの特操なき心ぞ、『承りはべり。』と答へたるは。」（10行）には、豊太郎のどういう心理が表れているか。

答

問 豊太郎は天方伯に帰国することを承諾する返事をした。それから家に帰るまでの豊太郎の心情を記せ。

答

【三五二ページ】

問 「余が彼に隠したる顛末」（11行）とは、どういうことか。

答

【三五二ページ】

問 「この恩人は彼を精神的に殺ししなり。」（2行）とあるが、ここに示されている豊太郎の心情を説明せよ。

答

問 「パラノイアといふ病なれば、治癒の見込みなしといふ」（15行）とあるが、作者はなぜエリスを完全な狂女にしまったのであろうか。

答

【三五三ページ】

問 「ああ、相沢謙吉がごとき良友は世にまた得難かるべし。されど我が脳裏に一点の彼を憎む心今日までも残れりけり。」（8行）について、

- ① 相沢のどういう点を良友として評価しているのか。
- ② 豊太郎はなぜ相沢を憎んでいるのか、説明せよ。